

報道関係者各位

2017年 9月13日

大東建託グループのTQC活動から誕生！仮筋交い用木材の廃棄を削減する伸縮式鋼製仮筋交い金具「スジカイ君」の全国導入・運用開始

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、大東建託グループのTQC活動から生まれた、伸縮式鋼製仮筋交い金具「スジカイ君」を2017年9月より本格導入し、全国の新築工事現場で運用を開始します。

【大東建託グループのTQC※活動】

大東建託グループでは、「お客様の声を実現するための、現場目線での改善をしよう!」をスローガンに掲げ、お客様満足度の向上を目的とした“TQC活動”を継続実施しています。現場での改善事例が数多く発表され、経営者と現場が問題と改善策を共有する良い機会となっており、これまでも多くの提案が実用化されてきました。

※ TQC=Total Quality Controlの略で、総合的な品質管理を目的に、現場の問題発見から要因分析を行い、業務改善を図る活動

■「スジカイ君」とは

「スジカイ君」とは、新築工事現場(2×4などの木造建築)において、壁を垂直に建て起こすために使う木製の仮筋交いの代わりに使用する製品です。この製品は、これまでの木製の仮筋交いとは違い、伸縮することで垂直の調整が容易となり、壁の建て起こし作業の能率が向上します。また、これまで建て起こした壁を「押す」ことができる既製品はありましたが、「引く」ことができる鋼製筋交いは業界初となります。全国の工事現場で順次採用し、環境に配慮しながら更なる施工品質の向上を図ります。



伸縮式鋼製仮筋交い金具「スジカイ君」

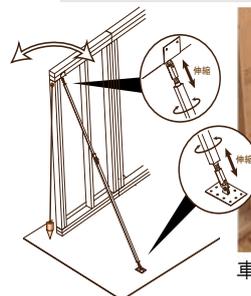
■木製仮筋かい(従来工法)と「スジカイ君」との違い

従来、一般的に使われていた木製の仮筋かいは、反りや割れが発生する恐れがあったり釘穴が開いてしまうことから、再利用できないものが生じ、廃棄処分にする必要がありました。また、1人で壁を建て起こす作業は困難なものでした。

鋼製の「スジカイ君」は繰り返し使用できるため、余分な廃材が発生しません。桁と土台に端部プレートで釘打ちしパイプを回すだけで、1人で簡単に建て起こし作業が可能となります。軽量で伸縮する構造であるため、狭い場所でも使用でき、携帯性にも優れています。



▲ 1人での作業は難しく、壁を建て起こす作業と、鉛直確認作業を分担して行うなど、工夫が必要でした



◀ 伸縮による「押す・引く」の微調整をしながら鉛直確認作業ができます

車での持ち運びも可能▶

■社員の提案が製品化され全国導入決定

「スジカイ君」は、大東建託グループが実施した第19回TQC全国大会(大会実施:2016年12月、結果発表:2017年1月)において、最優秀賞にあたる『社長賞』を獲得した、当社岐阜支店のサークルにより提案されたものです。この“伸縮式鋼製仮筋交いを使用した新工法による新築工事現場における木製仮筋交いの廃棄処分削減”という提案がこの度採用され、全社展開を目指して製品化されました。

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 経営企画室 出澤・和賀 TEL:03-6718-9174